

科目	手話言語学 I (Sign Language Linguistics I)		
担当教員	今里 典子 教授		
対象学年等	全学科(旧)・5年・前期・選択・1単位【講義】(学修単位I)		
学習・教育目標	C3(80%), D2(20%)		
授業の概要と方針	日本手話をゼロから学ぶ本講義では、まず言語学の基礎的な概念や考え方を学んだうえで、日本手話の構造を正しく理解し、さらに少数言語使用者である、ろう者について正しく知る。実技では、指文字と基本的な手話単語・表現を学習する。		
	到達目標	達成度	到達目標別の評価方法と基準
1	【C3】日本手話が「言語」であることを言語学の視点で説明できる。		日本手話が「言語」であることを言語学の視点で説明できるかを、定期試験で評価する。
2	【D2】手話話者である「ろう者」について理解し説明できる。		手話話者である「ろう者」について理解し説明できるかを、定期試験で評価する。
3	【C3】指文字と基本手話単語・表現を表すことができる。		指文字と基本手話単語・表現を表すことができるかを、定期試験および演習で評価する。
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
総合評価	成績は、試験85% 演習15% として評価する。到達目標1と3を定期試験、到達目標3を演習で評価する。演習方式の評価方法については講義中に詳しく解説する。		
テキスト	プリント 授業で指定した動画		
参考書	特にはあげないが、必要に応じて、参考資料や書籍を講義内で紹介する。		
関連科目	本科目は手話言語学II, および専攻科の手話言語学に関連する。		
履修上の注意事項	毎回の授業に出席して手話の演習を行い、基本的な手話表現を必ず習得すること。参加にあたって、積極的に発言すること、倫理上の問題に留意することが求められる。		

授業計画(手話言語学Ⅰ)

	テーマ	内容(目標・準備など)
1	ガイダンス	授業目的・授業実施方法・評価方法などについて説明する。
2	「きこえない」とは?	耳の構造と聞こえのメカニズムについて学習する。「指文字1と単語1」を学習する。
3	言語習得1	ろう児の家庭環境と手話言語学習について学習する。「指文字2と単語2」を学習する。
4	言語習得2	ろう児の音声言語習得と、ろう教育について学習する。「指文字3と単語3」を学習する。
5	手話の歴史1	世界の手話の歴史について学習する。「指文字4と単語4」を学習する。
6	手話の歴史2	日本の手話の歴史について学習する。「指文字5と単語5」を学習する。
7	言語の定義	言語の定義について学習する。「指文字6と単語6」を学習する。
8	手話表現の記述法	手話表現の記述法について学習する。
9	手話の構造1	日本手話の階層構造について学習する。「単語7と表現1」を学習する。
10	手話の構造2	日本手話の基本的な構文について学習する。「単語8と表現2」を学習する。
11	手話の構造3	日本手話の複雑な構文について学習する。「単語9と表現3」を学習する。
12	手話の特徴1	日本手話の手指表現の特徴について学習する。「単語10と表現4」を学習する。
13	手話の特徴2	日本手話の映像をもちいて非手指表現の特徴について学習する。「単語11と表現5」を学習する。
14	手話表現の総括	これまで学習した手話表現の実技を総復習する。
15	総括	授業全体の総括を通じて、手話言語に対する理解を深める。
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		
備考	前期定期試験を実施する。 学生の習熟度・状況等によって授業計画を変更することがある。	